



×



×



×



第1回 中央大学 附属学校研究発表会

～ 「何を教えるか」から「何を身につけるか」へ ～

教員主体の授業から、生徒主体の能動的な学びへと、学校教育は大きな転換点を迎えています。そのような中、中央大学の附属学校ではどのような取り組みが行われているのか、この発表会ではその成果を発表します。

日時：2017年3月11日(土)14:00～16:55

会場：中央大学杉並高等学校視聴覚室

プログラム

13:30～14:00 受付

14:00～14:05 開会の辞

14:05～14:20 藤枝由衣(中大高 高3) 「新自由主義と国際社会」

14:20～14:35 和田里沙子(中大高 高3) 「人口動態と日本社会」

14:35～14:50 松村芽衣(中杉高 高3) 「女川町と南三陸町の復興の取り組み」

14:50～15:05 休憩

15:05～15:20 丸山遥史(中横中 中3)

「誘導起電力の大きさは、磁石の運動を妨げる向きの磁界が生じさせる力と比例するのか」

15:20～15:35 藤岡李(中附高 高3) 「レストラン街における『色物』専門店の未来」

15:35～15:50 三宅萌友子(中附高 高3) 「流体中における球体の運動とカルマン渦」

15:50～16:05 休憩

16:05～16:50 発表者へのインタビュー、質疑応答

16:50～16:55 閉会の辞

お申し込み：中央大学杉並高等学校公式WEBよりお願いします。

お問合せ：中央大学杉並高等学校 go@chusugi.jp